

平成 27 年度 第 1 回 十和田市病院事業経営審議会 議事録

日 時 : 平成 26 年 5 月 22 日 (金) 15:00 ~ 16:00

場 所 : 十和田市立中央病院 別館 2 階講堂

出席者 (委員) : 畑山親弘、舩甚英文、氣田量子、齊藤重美、堰野端展雄、小嶋泰彦、
高橋俊介、伊藤博次、鳥越正美、洞内末吉

その他の出席者 : 松野事業管理者、丹野院長、工藤副院長、高淵事務局長、小又看護局長、
岩織薬局長、上野技師長、森技師長心得、遠藤医事課長、下川原業務課長

次第 : 1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 病院事業管理者あいさつ

4. 会長・副会長の選任

5. 議事

報告 1. 平成 27 年度病院事業会計予算について

報告 2. 平成 26 年度病院事業会計決算見込みについて

6. 閉会

下川原業務課長	<p>私は本日の司会を務めます、業務課長の下川原でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。それでは経営審議会の開会に先立ちまして、今回お配りした資料の確認をさせていただきます。お手元の資料として、「平成 27 年度第 1 回 十和田市病院事業経営審議会 会議資料」「報告 1 平成 27 年度病院事業会計について」は、委員の皆様には前もってご送付しておりますが、数字に一部訂正がありましたので差替えさせていただきます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>「平成 27 年度十和田市病院事業収益費用明細書」、「平成 26 年度十和田市病院事業収益費用明細書」「参考資料」となっております。</p> <p>それではここで委嘱状の交付を行います。管理者が皆様のお席に参りますので、その場でご起立の上、委嘱されるようお願いいたします。畑山親弘様。</p>
松野事業管理者	<p>委嘱状。畑山親弘様。十和田市病院経営審議会委員を委嘱します。期間平成 27 年 5 月 22 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日まで。十和田市病院事業管理者 松野正紀。</p>
下川原業務課長	<p>舩甚英文様。</p>
松野事業管理者	<p>委嘱状。舩甚英文様。以下同文です。よろしくお願い致します。</p>
下川原業務課長	<p>氣田量子様。</p>
松野事業管理者	<p>委嘱状。氣田量子様。以下同文です。よろしくお願い致します。</p>
下川原業務課長	<p>齊藤重美様。</p>
松野事業管理者	<p>委嘱状。齊藤重美様。以下同文です。よろしくお願い致します。</p>
下川原業務課長	<p>堰野端展雄様。</p>
松野事業管理者	<p>委嘱状。堰野端展雄様。以下同文です。よろしくお願い致します。</p>
下川原業務課長	<p>小嶋泰彦様。</p>
松野事業管理者	<p>委嘱状。小嶋泰彦様。以下同文です。よろしくお願い致します。</p>

<p>下川原業務課長 松野事業管理者 下川原業務課長 松野事業管理者 下川原業務課長 松野事業管理者 下川原業務課長 松野事業管理者 下川原業務課長</p>	<p>高橋俊介様。 委嘱状。高橋俊介様。以下同文です。よろしくお願いします。 伊藤博次様。 委嘱状。伊藤博次様。以下同文です。よろしくお願いします。 鳥越正美様。 委嘱状。鳥越正美様。以下同文です。よろしくお願いします。 洞内末吉様。 委嘱状。洞内末吉様。以下同文です。よろしくお願いします。 なお本日は豊川泰市委員、古川あき委員におかれましては欠席となります。以上で委嘱状の交付を終わります。ありがとうございました。それでは会議に先立ちまして、事業管理者の松野正紀よりごあいさつを申し上げます。</p>
<p>松野事業管理者</p>	<p>それでは、一言ご挨拶申し上げます。本日は委員の皆様には、本年度の第 1 回経営審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。日頃から皆様には、当院の事業運営にあたりましては大変なご協力をいただいております。厚く御礼申し上げます。私も就任以来、丹野院長はじめ職員とともに、安心・安全・レベルの高い医療を提供すること、それから経営の健全化に取り組んで参りました。経営の健全化につきましては、市からの処出金・繰出し金に頼りざるを得ない状況にありますけれども、今後とも市と一体となって取り組んで参りたいと考えております。申し上げるまでもありませんが病院と言え、委員の皆様方、関連病院の皆様方、市民の皆様のご支援が揃わなければ成り立ちません。今私たちもその支援を糧として、日々業務に励んで改善に努めて参ります。委員の皆様には今後とも、ぜひご指導を賜ります様、お願い申し上げます。簡単ですがご挨拶と致します。</p>
<p>下川原業務課長 丹野院長</p>	<p>続きまして、丹野病院長よりご挨拶申し上げます。 院長の丹野です。私からも一言ご挨拶申し上げます。日頃は当院の病院運営にご協力いただきまして本当にありがとうございます。昨年度は、消費増税、それから診療報酬改定等の影響もございまして、病院運営は正直厳しい状況でありました。しかし、このような流れ（経済面から医療をコントロールしようという流れ）は今後も続くだろうと考えております。その中で当院の立ち位置に関しましては、十和田の地域の特性をしっかりと踏まえて、あるべき医療提供体制をしっかりと維持していくことに尽きるだろうと思っております。限られたマンパワーではございますが、全職員でそれぞれ力を補い合いながら、しっかりと病院運営をやっていきたいと思っています。ぜひ委員の皆様におきましても今後のご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。</p>
<p>下川原業務課長</p>	<p>ここで本日出席しております病院の職員を紹介いたします。 事業管理者の「松野」でございます。 院長の「丹野」でございます。 副院長の「工藤」でございます。 看護局長の「小又」でございます。 薬局長の「岩織」でございます。 臨床検査科副科長の「上野」でございます。 栄養科技師長心得の「森」でございます。</p>

<p>丹野院長</p>	<p>事務局長の「高淵」でございます。</p> <p>医事課長の「遠藤」でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それではこれより議事に移ります。</p> <p>初めに仮議長を決めてから、会長、副会長の選出をお願いいたします。まず、院長に仮議長を務めて頂きたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>それでは院長よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、しばらくの間仮議長を務めさせていただきます。次第にあります、会長・副会長の選任について進めさせていただきます。会長・副会長につきましては、経営審議会条例第3条第1項の規定により、議員の互選によって定めるとございます。</p> <p>まず会長についてはいかがでしょうか？</p> <p>(畑山さん)</p> <p>はい、ただ今畑山委員を会長にとご推薦がございましたがご異議ございませんか？</p> <p>(なしの声)</p> <p>はい、それでは異議なしと認めさせていただきます。</p>
<p>畑山会長</p>	<p>それでは、経営審議会条例第3条第2項の規定により、会長が議長となりますのでここで議事を交代させていただきます。それでは会長よろしくお願いいたします。</p> <p>ただ今委員の皆様からのご推挙により、会長に選任いたしました畑山でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>病院事業につきましては、これまでいろいろな経営改革に取り組んできたと思っております。まずは平成21年度の病院経営改革検討委員会の設置にはじまりまして、平成22年度は地方公営企業法に基づき全部適用というようなことで移行いたしました。そして、十和田市からの不良債務全力回収の支援ということもございました。また平成23年度からは市の支援を受けながらではありますが、経営状況は改善されてきてると、私自身そのように聞いております。中央病院は地域において、私にとっても必要不可欠な医療の拠点であると思っております。市民が安心して暮らすことができる病院になるように、経営審議会においても今まで以上に果たすべき役割は大変大切だと考えております。</p> <p>日夜勤務されている医師ならびに看護師をはじめとする病院職員の皆様とは、私が代わった角度からいろんな意見を定義したり発信し、より良い病院づくりに一力となればと考えております。本日は新メンバーでの第1回目の会議となりますけれども、私は本審議会の会長としてその重責を果たして参りたいと考えておりますので、松野事業管理者ならびに丹野院長そして委員の皆様にはご協力の程よろしくお願いいたします。以上簡単ではございますが会長としてのご挨拶にかえさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に基づいて副会長について選任をしたいと思いますが、どのように選出しますでしょうか。ご意見をお伺いいたします。</p> <p>(小嶋さん)</p> <p>小嶋委員という声がございしますが、そのご意見でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>それでは、ご異議なしということで副会長には小嶋委員が決定いたしました。よろしくお願いいたします。</p>

下川原業務課長

それでは会議に移らせていただきます。「報告 1 平成 27 年度病院事業会計予算」について事務局から説明をお願いいたします。

それではお手元の資料の「報告 1 平成 27 年度病院事業会計予算」に基づいて説明をさせていただきます。

まず「1.急性期医療の展開による入院収益の確保」について

入院収益は平成 27 年度 4,843,644 千円、平成 26 年度の予算に比べますと 149,191 千円の減、約 150,000 千円の予算の減額と見込んでおります。これは平成 26 年度の決算を予算編成段階で見込んでおり、より現実的な数字となっています。

一般病床入院患者数は、240 人をみています。診療単価は 26 年度の実績に基づいて 52,000 円という単価となりました。

続きまして「2.外来診療の充実による外来収益の増」について

平成 27 年度は 1,892,897 千円。これは 26 年度に比べて 50,000 千円程の増額とみております。外来診療は伸びておりまして、地域の医療機関との連携等々、敷居の低い病院を目指し、受診しやすいようにということを目指しているその成果が出て、増額傾向にあります。

「3.一般会計(市)からの繰入金状況」

一般会計からの繰入金がないと病院経営は非常に厳しいので一般会計からの繰入れは、一般的に収益性の低い医療、精神医療、救急医療、小児科医療等におきましては助成を受けています。あとその他、建物の建設費も助成を受けております。これに関しましては約 1,500,000 千円となって、26 年度に比べると 100,000 千円程増えています。増額になったのは企業債を財源として整備した、医療機器、医療情報システムの元金償還が 27 年度に増額になります。これにつきましては、1/2 が一般会計から繰入して頂くことになっております。ちなみに医療情報システムは電子カルテを平成 26 年度に約 6 億円をかけ更新いたしました。これが 27 年度から償還がはじまるということで、1/2 は一般会計からもらえるということで 5 年の返済スパンを考えています。

「4.医療機器の購入」

平成 27 年度は 185,000 千円をみています。その下に、新規・更新・増設ということでそれぞれ金額がございます。こういう経営状態ですので使えるものは極力使うようにしておりますが、やはり更新等も必要なのでこのような金額になります。

「5.企業債の借入」

企業債の借入れで購入します。185,000 千円が企業債の借入れ金額です。

「6.企業債の償還」

すでに借りている企業債の返済は、1,211,870 千円となっています。備考に病院特例債を含むと書いていますが、これは平成 20 年に 1,382,700 千円を借りている分の償還です。このお金は公立病院が経営が困難で経営再建プランを作って認められた病院に交付されています。この病院特例債は今年度で終了となります。利子 2,000,000 千円を返して今年度で終了となります。

次に、平成 27 年度十和田市病院事業収益費用明細書ですが、3 ページ目をご覧ください。下の方に黒い枠塗で「特別損失」という項目があります。ここに「引当金繰入額」とありますが、27 年度がゼロで、26 年度が 2,835,000 千円という非常に高い数字になっていま

	<p>すが、これは 26 年度に会計制度が変わりまして、引当しなければならぬ項目がいくつか減りました。それを 26 年度に引当てましたので、27 年度においてはゼロとなります。以上で資料の説明を終わります。</p>
畑山会長	<p>ただ今の報告について、委員の皆さんから何かご質問、ご意見がありましたらご発言ください。</p>
鳥越委員	<p>先ほど説明していただきました引当金借入額の、引当金の明細(内容)はどのような内容なのでしょうか。</p>
下川原業務課長	<p>一番大きいのは、退職手当引当金です。これは、今、病院の職員が一斉に退職した場合いくらかかるかというのを計算して引当てなさいという指導です。あとは貸倒引当金等です。</p>
鳥越委員	<p>退職引当金は、毎年積み重ねていくのではなくて、26 年度退職した金額を全額引当てというだけでも、このようにしないということですか。</p>
下川原業務課長	<p>今、27 年度に退職したい方の計算もしています。退職引当金に繰り上げなければならないものがあれば繰り上げますし、毎年調整がされます。一旦 26 年度に引当てまして、その後は職員数に応じて調整します。</p>
鳥越委員	<p>調整して計算しないと、ここの平成 27 年度の分はまだ予算ですね。ですから、まだはっきりしないということで、ここは空欄ということですか。</p>
高淵事務局長	<p>専門的に言うと難しいので簡単に言います。今いる職員が、全員辞めた場合に退職金を払わなければならない額を 26 年度に積み立てなければならないということになりました。実際は辞めていないので払わないので、引当金に貯めておく。27 年度になった場合その額は、人数が減ったり、医師が増えたり、給料が変わったりして変わるかもしれないのでそこは調整しますよということですが、若干しか差がないのでゼロで見ているということです。ですので、実際に払った額ということではなくて、全員が辞めた場合に病院が払えるために貯金しておきなさいという意味の引当金ですので、そこをご理解をお願いいたします。</p>
鳥越委員	<p>はいわかりました。</p>
畑山会長	<p>他にありませんか。</p>
鳥越委員	<p>詳しく数字が入った 27 年度の明細書の、「他会計負担金」「他会計補助金」わかりやすくカッコ書きとか、どこからきたとか表現表示は無理でしょうか。</p>
下川原業務課長	<p>今回はこういう形を出していますが、今後内訳とか明細などは資料なので記載しません。</p>
鳥越委員	<p>提案ですが、表示しないと内容を熟知している人でないと読み取れないという結果を招くと思います。熟知していなくても、ある程度理解できるような表現や表示の工夫をしてほしいです。</p>
下川原業務課長	<p>今後はそのように気を付けてやっていきたいと思います。</p>
畑山会長	<p>他にありませんか。それではご意見質疑がないようですので議事を終了してよろしいですか。その他ご意見がないようですので、これをもって報告事項の審議を終了させていただきます。...大変失礼しました。「報告2 平成 26 年度病院事業会計決算見込み」について 事務局から説明をお願いします。</p>
下川原業務課長	<p>「1.収益的収支」</p>

収益的収入は 1,457,500 千円、このうち医業収益は 6,978,200 千円ということで 194,158 千円の増となりました。25 年度から医業収入は増えています。続いて収益的支出は 11,716,912 千円ということですが、退職引当金が入りましたのでこのような金額になりました。増額が 3,464,782 千円となり、うち医業費用は 7,893,865 千円で増減としましては 131,040 千円の増となっております。差引すると 2,657,735 千円、増減は 2,007,282 千円の増となります。

医業収支につきましては 915,608 千円となり、医業収支につきまして改善はいたしました。63,118 千円の黒となり前よりは良くなっています。

現金ベースでの収益的収支

実際に現金が動かない経費。例えば減価償却費、退職給付引当金繰入額、引当金戻入益、資産台帳修正益などの合計が 26 年度では、今現在の見込みで、2,778,441 千円となっています。収益的収支を見ると、120,706 千円の黒となっています。うち、医業収支につきましては 59,295 千円で黒ですが、この下に上記医業収支の実績値を載せている。これが 156,570 千円となっています。

平成 26 年度決算においては、2,657,735 千円の損失が発生する見込みですが、これは、平成 26 年度が新会計基準移行初年度にあたり多額の引出金が発生したことによるものです。減価償却費や引当金などの現金の支払いを必要としない経費を除いた実質的な現金ベースでの収益的収支の状況は、120,706 千円の黒字となる見込みです。

しかし、医療収支の実質値がなぜ赤になっているかと申しますと、特別損失に(後で明細のところに出てきますが)ボーナスや共済を引当てておりますが、そこから実質的な支出がありました(職員の給料など)。これも医業の費用と考えます。これは 25 年度までそういう扱いでしたので、そう考えますと 156,570 千円という金額になります。

「2.資本的収支」

これは建物とか機械機器等を管理する会計です。これが 26 年度は、資本的収入が 1,322,228 千円、資本的支出が 1,547,934 千円ということで、225,706 千円の赤となっております。

「3.病院事業会計の単年度資金収支」

現金の支出を伴わないものを除く単年度資金収支は 105,000 千円の赤字が見込まれます。この原因は、消費税が 26 年度に 5%から 8%に上がり、その影響をうけたものです。しかし病院の収入(患者さんから頂くお金)は非課税扱いですので、この部分を転嫁することはできません。消費税増税分の影響額等が約 70,000 万円強あるというふうに概算で計算しております。残りの約 30,000 千円強は昨年度ベースアップがありまして給料を引き上げました。この二つを足しますと、約 105,000 千円の赤字という見込みを立てています。参考と致しまして、一般会計繰出金からの状況です。説明は以上でございます。

ありがとうございました。ただいま報告がありました内容につきまして、ご質問、ご意見がございましたらご発言ください。

良くわからなかったのですが、つまり単純に考えてこの病院が医業収入や職員に払う給料とか、薬屋さんに払う薬代とか医療費にかかる代金などを払った後に、どのくらい黒になるのか教えていただきたい。建てた費用などは別にして。例えば、物を売る商売だと問屋さんから仕入れてお客さんに売る、その差額が黒でなければ店は潰れるわけです

畑山会長

小嶋委員

下川原業務課長	<p>が、この例えのようにするとどうい風になっているのか教えていただきたい。</p> <p>105,000 千円でございます、実際にお金を受けとっている、あるいはお金を払った、その現金の収入と支出の差額を計算しますと支出の方が多く の金額になる。これらは一時借入金等でまかなっていますが、こういう状況であります。</p>
小嶋委員	<p>なんで支出の方が多いのですか？ 医業ベースだけで考えても、プラスにならないと困るのではないですか。その辺、なぜマイナスになるのですか？</p>
下川原業務課長	<p>費用がふくらんでいる。消費税が大きい影響を与えているのですが、5%から8%で6割程上がりまして、それが約70,000千円以上。これを患者さんから頂ければ別ですけども診療費は非課税でございますので充当できません。実際問題、前からたまっている現金が約600,000千円ありますので、それとのやりくりで経営的にはまわっておりますが、一時借り入れもしながら運営をしている状況です。</p>
畑山会長 鳥越委員	<p>他にございませんか。</p> <p>現金ベースでの収益的収支の下の説明書きの、資産台帳修正益が600,167千円と大きいのですが内容を教えてください。</p>
下川原業務課長	<p>病院に資産の台帳がありまして、それと現物を照合いたしました。その結果、台帳にはありますが現物が無いというものが実際にありまして、その精査をしました。その修正益は、無いものをずっと減価償却してきてしまっていて、それを本来減価償却する必要はなかったのですが、減価償却したものがいらなかったということで資産台帳の修正益という形になった。逆に言うとなら資産の方から、そのものがなくなったということです。</p>
鳥越委員	<p>棚卸でチェックをしていないものとあるものを突合せしました。それをそのまま報告に載せたその正直さは大変すばらしいというか、当然のことではあり認めますが、そうすると今まで毎年チェック作業をやってきてなかったということになってしまいますね。ま、いいですそれは。これから先は毎年棚卸作業はやるという前提で受け止めてよろしいのですか。</p>
下川原業務課長	<p>26年度にチェックを徹底的にやらせていただき、こういう結果になりました。今後は毎年やって正確なもので運営していきたいと思っています。</p>
畑山会長	<p>他にございませんか。なしとの声がありますが審議を終了してもよろしいでしょうか。</p> <p>はい、課長。</p>
下川原業務課長	<p>皆様に参考資料をお渡ししておりますが、24年度、25年度、26年度の動きを表とグラフにして表しておりますのでご参考までにご覧いただければと思いますが、一番最後のページに医師数をのせております。御覧のとおりではございますけれども、このような推移で医師数が変化しているということです。</p>
畑山会長	<p>ありがとうございました。ただいま報告がありました内容につきまして、ご質問、ご意見がございましたらご発言ください。</p> <p>なしという声がありましたので、以上をもちまして平成26年度第1回目の経営審議会を終了させていただきます。皆様、ご協力ありがとうございました。</p>